

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 三菱自動車工業株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒108-8410 東京都港区芝浦三丁目1番21号	
本票作成	部署名：水島製作所 工務部 動力環境グループ				
主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業		
事業の概要	自動車製造業 生産台数 237,976台（令和4年度）、従業員数 3,345人（令和5年7月1日時点）				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島製作所		倉敷市水島海岸通一丁目1番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和4)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	115,995 t CO <sub>2</sub>	54,585 t CO <sub>2</sub>	110,445 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和4)年度排出量
	①	水島製作所	54,585 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度～令和6年度(5箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(4)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	34.6 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量		
	温室効果ガス排出量 指標(生産台数) 原単位		基準年度	(4)年度	目標年度
	基準年度 115,995tCO <sub>2</sub> 331,667台 350kgCO <sub>2</sub> /台		350	229	333
	【目標原単位】350kgCO <sub>2</sub> /台×0.95≒333kgCO <sub>2</sub> /台		kg CO <sub>2</sub> /(台)	kg CO <sub>2</sub> /(台)	kg CO <sub>2</sub> /(台)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和4年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・目標削減率の5%は令和元年度(2019年度)の原単位当り排出量を基準に、5ヵ年計画で達成を目指しており、省エネ法の削減努力目標5年度間平均1%以上低減に合わせた。
- ・生産台数減少により生産台数に比例して使用量が減少しない固定エネルギー原単位が悪化したが、令和4年度より電力会社を変更し電気のCO<sub>2</sub>排出係数が減少となりCO<sub>2</sub>排出量とCO<sub>2</sub>原単位が改善したことで挽回し、目標達成となった。

**【推進体制】**

代表執行役社長－環境管理責任者(環境担当役員)－水島製作所長－各部長－各課長－推進者  
 －各製作所長

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島製作所	<p><b>【令和4年度に実施した措置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装工場で塗るベース予備加温工程の昇温開始時間を改善し加温時間を短縮(△37h/月)し使用量を削減した。</li> <li>・塗装工場の照明(1,262灯)を蛍光灯からLED照明に更新した。</li> <li>・塗装工場で使用する塗装金具に付着した塗料カスを洗浄する装置をアルカリ溶液浴槽式(7槽)からショットブラスト式(2式)に変更し蒸気使用量を削減した。</li> <li>・歯車洗浄機の洗浄液加温を蒸気ヒーターからヒートポンプ式ヒーター(電気)に変更し蒸気使用量を削減した。</li> </ul> <p><b>【令和5年度の計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装工場屋根に大規模太陽光発電設備を設置し、発電した電気を自家消費し再生可能エネルギーを活用する。</li> <li>・塗装工場の照明(622灯)を蛍光灯からLED照明に更新する。</li> <li>・稼働率が低下しているガス浸炭炉を4基から2基へ集約し待機電力の削減を図る。</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	有	廃水処理設備の処理設備集約で出来た空地进行緑化(芝生の造成)した。(約1,800㎡) 芝生エリアは「三菱あおぞら広場」と命名し、社員および一般工場見学者へ解放している。
その他	有	2006年より公益財団法人オイスカと協働し、山梨県早川町で森林保全やボランティア活動を通じた地域交流を取り組んでおり、林野庁が主催する「森林×脱炭素チャレンジ2022」で森林整備を通じて脱炭素に貢献する企業として当社が「グリーンパートナー2022」に認定されました。

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	エネルギーソリューションサービスの一環で、水島製作所において塗装工場屋根を設置場所として提供し大規模太陽光発電設備(約1MW)を設置する。
その他	無	

**【その他特記事項】**

<p>1. 水島製作所では若手社員を中心に活動し、カーボンニュートラルを啓発するカーボンニュートラル展示会を開催した。(参加者 約200名)</p> <p>2. 生産現場ではカーボンニュートラルを意識したからくり改善を作成し、社員の意識向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天井照明や天窓からの光を太陽光パネルで集光し、局部照明用電力として有効活用した。</li> <li>・自動車部品を加工する機械加工機の冷却水配管に自家製水力発電機を設置し、発電した電力量を検査作業場のLED照明に使用した。</li> </ul>
--